

平成 28 年 10 月 14 日

「地域産業資源活用事業計画」を新たに 7 件認定しました

関東経済産業局では、「中小企業地域資源活用促進法（中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律）」に基づいて、管内都県を通じて申請のありました地域産業資源活用事業計画について、新たに 7 件を認定しました（累計 273 件）。

1. 「群馬県産牛肉と豚肉を活用した加工品、牛肉の生ハムなどの開発・販売事業」
(群馬県みなかみ町)
2. 「西川材(杉・桧)の木材加工技術を活用したひとつぼキャビン事業」
(埼玉県飯能市)
3. 「地域資源である【大森海苔】の産地技術を活かした新商品開発・販売事業」
(東京都大田区)
4. 「茅ヶ崎地ビールと麦芽粕を活用したドーナツの開発・販売事業」
(神奈川県茅ヶ崎市)
5. 「市川和紙によるデザイン性・発色性を活かした新たな卷子本の開発と販売」
(山梨県市川三郷町)
6. 「市田柿製造過程で発生する未利用品を活用した商品開発・製造・販売」
(長野県高森町)
7. 「静岡産の抹茶と玉露及びその加工品の海外に向けた新商品開発および販路開拓」
(静岡県菊川市)

(参考)地域産業資源活用事業計画について

本事業計画は、「中小企業地域資源活用促進法（中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律）」（平成 19 年 6 月 29 日施行）に基づいて、都道府県が指定を行った地域産業資源（農林水産物、鉱工業品、観光資源）を活用して、中小企業等が商品・サービスの開発や需要の開拓を図るものです。

認定を受けた事業計画については、補助金（ふるさと名物応援事業補助金（地域産業資源活用事業））、中小企業信用保険法の特例、政府系金融機関による融資制度や専門家によるアドバイス等総合的な支援を受けることが可能となります。



(本発表資料のお問い合わせ先)

関東経済産業局産業部経営支援課長 一倉

担当者：齊藤、田口、太田

電話：048-600-0332(直通)

048-601-1294(FAX)

中小企業地域資源活用促進法に基づく地域産業資源活用事業計画の認定一覧(第30回:関東経済産業局)

No.	地域名	事業名	事業概要	地域資源 (3類型)	法認定事業者 (法人番号)
1	群馬県 みなかみ町	群馬県産牛肉と豚肉を活用した加工品、牛肉の生ハムなどの開発・販売事業	群馬県産の牛肉・豚肉を使用した生ハム、生ベーコン、サラミを開発・販売する。豚生ハム製造で培った、水分活性を抑えることで、塩分濃度の低い加工肉でも長期保存を可能とする技術等を用い、素材本来の味を生かした新商品開発に取り組む。新商品の開発・販売により、群馬県産牛肉・豚肉の知名度向上及び消費量増加に貢献し、地域活性化につなげていく。	群馬の牛肉・群馬の豚肉(農林水産物)	有限会社育風堂精肉店 (207000203523)
2	埼玉県 飯能市	西川材(杉・桧)の木材加工技術を活用したひとつぼキャビン事業	地域産業資源である「西川材」の持つ木肌の美しさ・強度の高さと自社の木材加工と製造技術、設計力を活かして「ひとつぼキャビン」の開発・製造・販売を行っていく。具体的には①屋外据置型、②屋内置き家具型(和室/木室)を展開していく。西川材の魅力を多くの人に伝えることで、西川材の利活用促進につなげていく。あわせて当地域事業者との連携により各社の開発品とともに西川材商品の地域ブランドを情報発信していく。	西川材(鉱工業品)	株式会社サカモト (9030001089402)

3	東京都 大田区	地域資源である【大森海苔】の産地技術を活かした新商品開発・販売事業	産地・生産者・生産時期を限定した「一番摘みの立芽の藻を使用した乾海苔」を原料とし、大森海苔の産地技術である火入・焼き加工技術を加えた商品を開発・販売する。 調達・火入れ・味付け・パッケージ製造と申請企業4社それぞれの強みを活かし、開発に取り組む。	大森海苔(鉱工業品)	株式会社守半總本舗 (8010801011947) 株式会社金羊社 (2010801003099) 株式会社川島屋 (1010801002820) 有限会社田中正造商店 (8010802009057)
4	神奈川県 茅ヶ崎市	茅ヶ崎地ビールと麦芽粕を活用したドーナツの開発・販売事業	地域資源である「神奈川の地ビール」を使用した新たなドーナツなどの商品を開発する。当社で製造販売している茅ヶ崎アンダギーを開発したノウハウをベースに、茅ヶ崎の地域性や地域資源である「地ビール」の製造過程でできる麦芽粕の低糖質という特性と、ビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んだ規格外玄米を利用した、低糖質という特徴のある新たなドーナツの開発と販売を行っていく。	神奈川の地ビール(鉱工業品)	株式会社なんどき (1021001008715)
5	山梨県 市川三郷町	市川和紙によるデザイン性・発色性を活かした新たな卷子本の開発と販売	地域産業資源である市川和紙をはじめとして和紙には、その質感、地合い、風合いなどに特徴がある。さらに当社の和紙は、発色の良さや厚手で丈夫などの特徴がある。本事業では、市川和紙さらに当社の和紙の特徴を活かした伝統ある巻物形態の卷子本を、素材、デザイン、使い方の提案などの点で現代における新たなメディアとなる商品として確立すべく、卷子本・白無地、卷子本・自費出版用の開発を行い、新規事業の成功を目指すとともに、市川和紙のブランド化を図る。	和紙 (市川和紙、西嶋和紙) (鉱工業品)	三和製紙株式会社 (8090001011988)

6	長野県 高森町	市田柿製造過程で発生する未利用品を活用した商品開発・製造・販売	地域産業資源「市田柿」の製造過程で発生している“柿果皮”や“撰果規格外果実”、製造後の撰別において発生する“規格外干柿”は大量に発生し、農地への埋め戻し又は焼却処分されており、これらの有効活用が地域の大きな課題となっている。本事業では、これらを原材料としてスライスした柿のクッキー、液浸食品、製菓原料ペースト・パウダーを製造販売することにより、有効活用をはかるとともに農業者の売上増加に寄与する。	市田柿(鈹工業品)	株式会社マツザワ (7100001023223)
7	静岡県 菊川市	静岡産の抹茶と玉露及びその加工品の海外に向けた新商品開発および販路開拓	海外では日本食への関心や健康面での効用が注目され、緑茶の消費量は拡大が続いているものの、中国産の低価格な緑茶粉末が多く流通してしまっている。本事業ではそれとは一線を画した本物の抹茶、玉露及びその加工品を開発する。そのため、「静岡茶」で主力のやぶきた種ではなく、抹茶と玉露により適した品種を栽培し、海外ニーズに合わせたブレンドを行って、海外消費者に対して品質と価値の違いを訴求できる高品質な緑茶商品を提供していく。	静岡茶(農林水産物)	株式会社流通サービス (2080401014969)

地域産業資源活用事業計画 認定件数 (H28.10.14現在)

【ブロック毎】 地域産業資源活用事業計画の認定件数

経産局等	件数										
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	計
北海道	26	29	18	4	6	5	1	2	5	3	99
東北	26	15	18	10	6	12	13	14	13	10	137
関東	51	43	37	19	21	18	26	22	27	9	273
中部	45	47	39	21	24	22	21	25	30	17	291
近畿	32	40	40	12	10	11	14	15	21	7	202
中国	34	22	16	2	2	7	8	10	8	5	114
四国	32	22	30	12	14	18	6	8	13	6	161
九州	37	32	27	6	5	13	18	17	14	9	178
沖縄	22	11	9	5	5	5	11	7	9	3	87
計	305	261	234	91	93	111	118	120	140	69	1542

【関東局管内】 地域産業資源活用事業 認定件数※

都県名	認定件数 (うち、30号認定 件数)	都県名	認定件数 (うち、30号認定 件数)
茨城県	31 (0)	神奈川県	20 (1)
栃木県	17 (0)	新潟県	22 (0)
群馬県	37 (1)	長野県	24 (1)
埼玉県	21 (1)	山梨県	26 (1)
千葉県	22 (0)	静岡県	39 (1)
東京都	14 (1)	合計	273 (7)

※地域産業資源活用とは、地域の強みである『産地技術、農林水産品、観光資源』を活用して、商品・サービスの開発に取り組む中小企業者を応援する事業